

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
222BT08	交通需要論		交通需要（鉄道輸送量）が変動する要因とは	武藤 雅威	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	派生需要、交通統計、混雑緩和、交通需要マネジメント、交通需要予測			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目		交通概論、鉄道基礎、鉄道工学、鉄道数学、交通英語入門、交通史、交通政策論				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	交通需要とは、人や物が移動することへの欲求やその量の事です。どのような要因で交通需要は変動するのか、交通需要が多過ぎる場合にはどのように調整するのか等、鉄道を中心に、交通の現場における実践例を通じてその基礎知識を習得します。また、「なぜ、交通需要予測を行うのか」、「どの交通機関を利用するのか（交通機関分担）」、「どの経路を通るのか（経路配分）」という交通需要予測の基本的な考え方とその応用を学びます。					
到達目標	これからの日本では人口減少や急速な高齢化社会が進展する一方で、新たな新幹線の開業等により交通ネットワークのさらなる充実が期待されます。日本の交通需要が変動をしていく要因は多くあります。これからの交通業界を背負って立って行く皆さんが、例えば、「日本の交通の将来像」について、自身の考えを持ち、議論ができるようになることを目指します。					
講義内容	交通需要は社会経済の情勢や技術革新、人々の行動変化に影響を受けます。新型コロナ禍で鉄道等の交通需要は大きく減少しました。このような交通需要が増減する要因について鉄道輸送量における事例を中心に、わかりやすく解説します。皆さんには、提示された課題から自らの考えをまとめる時間を与え、レポート作成やプレゼンテーションにつなげていく進め方とします。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	進め方と評価方法、交通需要とは			
	第2講	公共交通需要の推移	日本の公共交通で何が起きてきたのか			
	第3講	交通統計の利用①	都市鉄道データ分析の実際			
	第4講	交通統計の利用②	幹線・地方鉄道データ分析の実際			
	第5講	需要調整による混雑緩和策	通勤・通学の苦痛を少しでも和らげるには			
	第6講	安定的な通勤需要の確保	なぜ鉄道会社は沿線価値の向上を競うのか			
	第7講	交通需要マネジメント	道路交通の渋滞・混雑の緩和策、次世代交通教育とは			
	第8講	ICTで需要を誘発・管理	自動改札機と交通系ICカードの開発経緯、MaaSとは			
	第9講	地方鉄道の需要を維持する	なぜ地方鉄道の需要は衰退したのか、どう維持するか			
	第10講	コロナ禍による需要変動	鉄道会社はコロナ禍にどう対応したか、今後どうなるか			
	第11講	訪日外国人需要の開拓	訪日外国人客に対する鉄道のおもてなしと課題			
	第12講	交通需要予測の基本	なぜ、交通需要を予測するのか、費用便益分析とは			
	第13講	交通機関・経路選択	鉄道と自動車、東海道と北陸、どちらで行きますか			
	第14講	乗換の移動抵抗	交通機関間・鉄道路線間の乗換は移動が大変			
第15講	ディスカッション	交通需要の問題について考えよう（グループワーク）				
指導方法	初回と最終回を除き、本日のテーマに関する講義を約60分を行います。残りの時間でミニレポート課題を提示し、レポート作成時間を設けた後、ディスカッション（発表と質疑応答）をします。					
事前学習	事前配布する講義用パワーポイント（PDFファイル）にあらかじめ目を通しておき、内容を頭に入れて受講すれば、講義内容への理解が深まります。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
事後学習	事後学習として、講義中に作成したミニレポートの記述内容を振り返り、自分で新たな考察をまとめることにより、講義で学んだ知識が定着し、より理解が深まります。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	本試験50%（レポート）、平常点50%（通常講義時のミニレポートとディスカッション参加40%、第15講ディスカッション10%）					
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	レポート提出と評価をClassroomで行います。優秀なミニレポートには平常点内で加点をします。					
テキスト	毎回、パワーポイントのPDFファイルをClassroomで事前配布します。					
参考文献	数字でみる鉄道2024（運輸総合研究所発行）					
実務家教員による授業		教員経歴				
特記事項						